

幡豆小学校

テーマ：地域と共に生きる“はずっ子”の育成

～効果的な学校行事等への取り組みと学習方法や教材の開発をめざして～

テーマの説明

幡豆小学校区は、北に弘法山や三ヶ根山を配し、南は三河湾の海に囲まれた、海の幸にも山の幸にも恵まれた自然環境豊かな地域です。また、地域の方々は学校の教育活動にとっても協力的で、「地域で子どもを守ろう運動」や町の先生、図書館ボランティア等でご支援をいただいております。下記の三つのねらいに取り組んでいます。

- ① 児童と「ふるさと幡豆」とのつながりを深めることにより、地域の中に生き、新たなふるさとの創造を担う将来の人材を育成する。
- ② 障がいを抱える児童を含めた地域の一人一人の児童がつながりあい、地域や保護者の願いでもある「共生」のできる地域社会に寄与する将来の人材を育成する。
- ③ 地域の中における「生きる力」を育むために、コミュニケーションや言語活動・思考活動を軸として「考える力」を養い、地域社会の形成者としての資質を持つ人材を育成する。

ふるさと学習

5年生は、地域の方に協力していただき学校での米作りに取り組んでいます。

4年生は、幡豆地区の民話を学び、自分たちで紙芝居をつくり、紹介する予定です。



田植えの様子



幡豆地区の民話を学ぶ



弘法山の見学

地域の方々との連携

保護者の方々の協力で、親子ふれあい奉仕作業を行っています。

図書ボランティアとして、定期的に子供たちにいろいろな話を読み聞かせてもらっています。

地域で子どもを守ろう運動では、地域の方々に見守り下校をお願いしています。



親子ふれあい奉仕作業



地域で子どもを守ろう運動の決起集会



読み聞かせ

授業力の向上

「幡豆小プライドを育む」をテーマに、学習規律を大切にしながら、「楽しく力のつく授業」を目指して授業づくりに取り組んでいます。



国語の授業風景



音楽の授業風景



算数の授業風景